# 中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律施行令案要綱

### 第一 中小企業者の範囲

中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律の適用対象となる中小企業者の範

囲を定めること。

(第一条関係)

第二 保険料率に関する事項

中小企業信用保険法の特例に係る保険料率を定めること。

(第二条関係)

第三 附則

この政令の施行期日について規定すること。

( 附則第一条関係)

一 中小企業政策審議会令の一部を改正すること。

(附則第二条関係)

## 中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律施行令

内閣は、中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律(平成十九年法律第三十九

号) 第二条第一項第五号及び第八号並びに第八条第四項の規定に基づき、この政令を制定する。

### (中小企業者の範囲)

第一条 中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律(以下「法」という。)第二

条第一項第五号に規定する政令で定める業種並びにその業種ごとの資本金の額又は出資の総額及び従業員

## の数は、次の表のとおりとする。

二百人	五千万円	旅館業	$\equiv$
三百人	三億円	ソフトウェア業又は情報処理サービス業	=
		ーブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除く。)	
九百人	三億円	ゴム製品製造業 ( 自動車又は航空機用タイヤ及びチュ	_
従業員の数	資本金の額又は出資の総額	業	

法第二条第一項第八号の政令で定める組合及び連合会は、次のとおりとする。

ー 事業協同組合及び事業協同小組合並びに協同組合連合会

一 農業協同組合、農業協同組合連合会及び農事組合法・

四 森林組合及び森林組合連合会

Ξ

漁業協同組合、

漁業協同組合連合会、

水産加工業協同組合及び水産加工業協同組合連合会

五 商工組合及び商工組合連合会

六 商店街振興組合及び商店街振興組合連合会

七 生活衛生同業組合、 生活衛生同業小組合及び生活衛生同業組合連合会であって、 その直接又は間接の

構成員の三分の二以上が五千万円 (卸売業を主たる事業とする事業者については、一億円) 以下の金額

をその資本金の額若しくは出資の総額とする法人又は常時五十人(卸売業又はサービス業を主たる事業

とする事業者については、百人)以下の従業員を使用する者であるもの

八 酒造組合、 酒造組合連合会及び酒造組合中央会であって、その直接又は間接の構成員たる酒類製造業

者の三分の二以上が三億円以下の金額をその資本金の額若しくは出資の総額とする法人又は常時三百人

以下の従業員を使用する者であるもの並びに酒販組合、 酒販組合連合会及び酒販組合中央会であって、

その直接又は間接の構成員たる酒類販売業者の三分の二以上が五千万円(酒類卸売業者については、

億円)以下の金額をその資本金の額若しくは出資の総額とする法人又は常時五十人 ( 酒類卸売業者につ

いては、百人) 以下の従業員を使用する者であるもの

九 鉱工業技術研究組合であって、その直接又は間接の構成員の三分の二以上が法第二条第一項第一号か

ら第七号までに規定する中小企業者であるもの

(保険料率)

法第八条第四項の政令で定める率は、 保証をした借入れの期間(中小企業信用保険法施行令( · 昭和

二十五年政令第三百五十号) 第二条第一項に規定する借入れの期間をいう。) 一年につき、 中小企業信用

保険法 ( 昭和二十五年法律第二百六十四号 ) 第三条第一項に規定する普通保険にあっては〇・四一パーセ

貸越し特殊保証(同令第二条第一項に規定する当座貸越し特殊保証をいう。以下同じ。)の場合は、〇・ ント (手形割引特殊保証 (同令第二条第一項に規定する手形割引特殊保証をいう。以下同じ。) 及び当座

三五パーセント)、同法第三条の二第Ⅰ項に規定する無担保保険にあっては○・二九パーセント (手形割

引特殊保証及び当座貸越し特殊保証の場合は、○・二五パーセント)、同法第三条の三第一項に規定する

特別小口保険にあっては○・一九パーセント(手形割引特殊保証及び当座貸越し特殊保証の場合は、○・

五パーセント)、 同法第三条の四第一項に規定する売掛金債権担保保険にあっては〇・二九パーセント

とする。

附則

(施行期日)

第一条 この政令は、 法の施行の日(平成十九年六月二十九日)から施行する。

中小企業政策審議会令の一部改正)

中小企業政策審議会令(平成十二年政令第二百九十五号)の一部を次のように改正する。

第五条第一項の表中小企業経営支援分科会の項第二号中「及び中小企業のものづくり基盤技術の高度化

に関する法律 ( 平成十八年法律第三十三号 ) 」を「、中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法

律(平成十八年法律第三十三号)及び中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法

律(平成十九年法律第三十九号)第三条第三項」に改める。

地域産業資源活用事業関連保証に係る保険料率を定める必要があるからである。 中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律の施行に伴い、中小企業者の範囲、

		<b>第</b>	
分経り	中名	表の分類の分類の	
安文1	業称	トやいいいでは、おります。	
議すること。その経営基	中小企業所	掲げるとおい	改
	の  経 	を審している。	
で 化 に 記	宮   掌   の   掌   革	る。 会 欄 に 掲:	正
は す る 重 悪	及り事り	事務の分科☆	案
事の	<del>末</del> の 務 促 務	つち、そ	
調	並 び に	れぞれ口	
分経り	中   名   小   企	表の五への分条分下科	
- 接 i	業称	横会審会に	
・議のの経営	中小企	掲げると 次 の と の の の の の の の の の の の の の の の の	
基盤の	業 所 の 経	おりとt い、審議	現
強に	営 の 掌 革	9 高会の所 場会の所 掲	
関するで	新 及 び 事 創	掌 事 務 の 科	行
^_	ŲĮŽ	~ ~ ~	1
要 第 事 (	業 の 促 器	うち、置	
	議すること。  一会には、「は、「は、」」とは、「は、」は、「は、は、「は、は、は、は、	科会 議すること。	科会 議すること。

(略)	2 } 6	(略)	2 } 6
(略)	(略)	(略)	(略)
		کی	
		審議会の権限に属させられた事項を処理するこ	
		年法律第三十九号)第三条第三項の規定により	
られた事項を処理すること。		用した事業活動の促進に関する法律 (平成十九	
三十三号) の規定により審議会の権限に属させ		十三号)及び中小企業による地域産業資源を活	
技術の高度化に関する法律(平成十八年法律第		術の高度化に関する法律(平成十八年法律第三	
) 第三条第三項及び中小企業のものづくり基盤		)第三条第三項、中小企業のものづくり基盤技	
促進に関する法律 ( 平成十七年法律第八十五号		促進に関する法律 (平成十七年法律第八十五号	
律第十八号)、流通業務の総合化及び効率化の		律第十八号)、流通業務の総合化及び効率化の	

### 小 企 業 に ょ る 地 域 産 業 資 源 を 活 用 し た 事 業 活 動 の 促 進 に 関 す る 法 律 施 行 令 案 参 照 条 文

### 照 法 覧

中中中 中 小 小 小 小 小 企 企 企 企 企 業 業 業 業 業 政 の 信信 に 策 新用用 ょ 審 た保保 る な険険事法法 議 地 会 域 業施へ 令 産 平: 活 行 昭 業 動の促乳和二十二 資 成 源 十二年政令第二 を 進 和 五 活 に 年 用 関 十法 し す る 年 五 律 た 第 二 事 業 法 政 二百九十五号)(抄)・・法律施行令(平成十一年政政令第三百五十号)(抄)・・二百六十四号)(抄)・・業活動の促進に関する法律 年 抄政 ) 律 令 平 第 二 成 十 百 九 号 ) 年 法 律 第三十 九号) 抄 2 5 4 1

6

中 小 企 業 に ょ る 地 域 産 業 資 源 を 活 用 L た 事 業 活 動 の 促 進 に 関 す る 法 律 平 成 + 九 年 法 律 第 三 十 九号) 抄)

定 義

第二条 こ の 法 律 に お L١ て \_ 中 小 企 業 者 لح は 次 の 各 号 の L١ ず れ か に 該 当 す る 者 を しし

う。

5 兀 略

五 業 種 資 ご 本 ح 金 に の 政 額 又 令 で は 定 出 め 資 の る 数 総 以 額 が 下 そ の 会 の 業 社 種ごと 及 び 個 に 人 で 政 令で あ つ て、 定 め そ る の 金 政 額 令 以 で 下 定 の 会 め る 社 業 亚 種 び に に 属 常 す 時 る 使 事 用 業 す る を 従 主 業 た る 員 事 の 業 数 が لح そ L て の

営 む ŧ の

七 略

八六 事 業 協 同 組 合、 事 業 協 同 小 組 合、 商 I 組 協 同 組 合 連 合 会 そ の 他 の 特 別 の 法 律 に ょ IJ 設 立 さ れ た 組 合 及

び

そ

の

合 会 で あ つ て、 政 令 で 定 め る も の

連

2 3  $\overline{\phantom{a}}$ 略

第 Ξ 条 基 本 · 方 針) 略

2 略

3 主 務 大 臣 は 基 本 方 針 を 会 定 め、 又 は ٦ れ を変 更し ようとすると き は あ 5 か じ め、 関 係 行 政 機 関 の 長 に 協 議 す る

ح も に、 中 小 企 業 政 策 審 議 の 意 見 を 聴 か な け れ ば な 5 ない。

4 略

中 小 企 業 信 用 保 険 法 の 特 例

第 八 条 略

2 3 略

証 に 係 通 る 保 も 険 の に 無 つ 担 L١ 保 τ 保 の 険 保 険 特 料 別 の 小 額 は保 険 中又 小は 企 売 業 掛 信 金 用債 保権 険 担 法 保 第 保 兀 険 条の の 保 規 険 定関 に 係 か で か あ っ わ て、 5 ず、 地 保 域 険 産 業 金 額資 源 に 年 活 百用 分 事 業 の 関 以 連 内保

に お ١١ て 政 令 で 定 め る 率 を 乗じ て 得 た 額 ۲ す

る。

附 則

中 小 企 業 基 本 法 の 部 改 正

中 小 企 業 基 中本 法 昭 和 小 三 + 八 年 も法 律 第 く百 1) 五 + 四 の 部 を 次 の ょ う 法に 律 改 正 す る

源 第 中 + 小 活 用 企 七 業 条 し た の 第 事 も  $\equiv$ 業 の 項 づ 活 < 動  $\neg$ の 1) 及 促 基 び 進 盤 中 に技 関 紨 企 す の 業 る 高 の 法 度 律 化 の に ブ  $\overline{\phantom{a}}$ 平 関 成 す + る 基 九 法 盤 年 律 技 法  $\overline{\phantom{a}}$ 紨 律 平 の 第 成 高 Ξ + 度 + 八 化 九 年 に 号 法 関 律 す 第 る に Ξ 改 + め Ξ  $\overline{\phantom{a}}$ る 号 ) 平 成 及 + び 八 中 年 小 法 企 律 第 業 Ξ に + ょ る Ξ 地 号 ᆫ 産 を

中 小 企 業 信 用 保 険 法  $\overline{\phantom{a}}$ 昭 和 + 五 年 法 律 第 百 六 + 兀 号 抄

### 普 通 保

ح を あ 組価 す 害 証 き 信 当 項 し る 合 る の 額 用 保 並 た لح 責 賠 該 の 以 保 額 ㅎ 合 償 証 下 信 び 商 め 証 中 用 に は 店 計 に لح 契 単 協 小 手 約 保 第 街 任 に 会 企 額 証 Ξ 形 四 振 が ず て で が 業 条の 億 中 協 顚 る 履 定 金 金 会 の 割 円 組 億 保 行 め 融 小 融 ح 兀 引 合 円 証 す る 機 企 公 の 第 の を 連 る 期 関 業  $\overline{\phantom{a}}$ 庫 間 場 そ 以 間 者 超 合 額  $\overline{\phantom{a}}$ 項 合 え 会 下 を 内 لح 以 に の の 保 及 は る 中 除 11 銀  $\neg$ に 下 ت び 手 う。 険 生 特 l١ 生 小 行  $\neg$ 関 ۲ 活 ず 第 形 企 殊 た 公 係 金 が 衛 業 保 額 る 信 庫 生 債 \_ が項 額 で 者 証が か 用 成に ㅎ 5 の 同 が 保 務 金 لح ۲ 立お う な業 中 証 に の 庫 L١ う。 す いち い 組 小 い契 つ 借 、 う。 る て保 保 合 企 約 しし λ 信 旨 証 業 τ 同 険 で れ 用 を じ を 生 等  $\overline{\phantom{a}}$ 定 協 は 以 定 し 活 を め 当 手 協 同 め た 下 衛 含 る 形 組 同 該 る  $\neg$ の 額 生 組 額中 合 む の 契 総 普 合 小 割 そ 年 同 約 業 以 額 特 通 企 引 の 度 を 殊 保 を 業 が 小 協 下 他 を の 締 保 組 業 す \_ 受 半 険 者 の 結 \_ 組 る 証 合 限が け政 定 期 す こ 度 履と 額 行 の の لح 合 る 令 る こ ح 場 金 しし 生 で こ う。 額 合 活 商 に U ۲ 定 に ح ے な には 衛 I ょ を め が , IJ る 達 限 生 組 しし 含 しし 信 う。 で す 度 に 場 む 金 用 同 合 ㅎ る 額 つ 業 中 合 融 保 る。 小一 ま 11 組 商 に 以機 証 で、 て、 合 に 関 第 I 企 下 協 Ξ 組 連 業達 会 利 同  $\overline{\phantom{a}}$ 者 ڕۨ そ 項 合 合 す 息 第 借 を る の λ 会 連 及 相 金 人 ま 条 保 次 又 合 び 手 会 条 の は に 費 証 で に の 方 つ ょ 第 額 酒 用 九 ح に つ 類 い そ そ る 第 L の 商 項 う 業 店 の ㅎ て の 及 ち 組 街 の 履 他 び 保 合 振 保 行 の の を 公 第 興 険 を 損 保 証 で

### 2 5 5 略

無 担 保 保 険

第 提 か さ 5 の ഗ せ な 借 公 λ L١ も れ 庫 に は の ょ を す る 事 業 る 債 こ 務 年 لح 度 の に 保 の ょ 証 半 IJ 期 特 ご ع 中 殊 に 小 保 証 企 業 を 信 者 含 用 む。 保 人 証 に 協 つ で 会 あ を L١ て つ 相 の て 手 そ 保 方 険 の لح 保 価 b 額 証 て に の 合 つ 当 ١J 該 計 て 額 信 が 担 用 八 保 保 千 証 保 協 万 円 証 会 を 人 が 超 の 保 え 小 る 証 企 こ を ۲ 除 者 が < の で 金 き 融 を

そ 保 **ത** 険 保 以 証 に 下 つ き 担 公 保 庫保 لح 険 当 該と 信い う。 用 保  $\cup$ 証 協に つ 会 とい のて 間 に借 保入 険 金 関の 係 額 がの 成う 立ち す保 る証 を 旨 をし 定た め額 るの 契 総 約額 をが 締 一 結 定 すの る金 こ 額 とに が達 す で ㅎ る る。 ま で

### 4 小~

### 特 別 保 険

第  $\equiv$ ギ項 係 次 別 ٢ の て ı 条 項 小 に 保 条 に 経 が ょ 証 の 規 済 成に 対 の 産 お保 IJ 九 策 定 Ξ 立 す 特 保 業 しし 険 第 す る 省 て 小 殊 険 る 公 旨 同 ے 規 保 項 売 令 庫 ڹ l١ で を 模 証 は に 掛 第 う。 定 企 を 規  $\equiv$ 金 定 業 含 定 め 条 債 め 事 る の す 業 者 む の 権 る に 契 総 る 七 担 要 年 つ 約 額 人 特 第 保 件 度 で L١ に が 定 保 を \_ を の て、 つ 締 あ 社 半 項 険 備 結 つ 定 l١ 債 に え 期 す 保 て て 規 て ご の 保 第 る ح  $\equiv$ 証 そ 金 の 険 定 11 こ に 額 を 保 の 条る す の ٢ に U 険 保 保 る の も が 達た 価 証 険 海 五 の 信 で す 借 額 に 関 外 第 用  $\overline{\phantom{a}}$ き る そ つ λ **ത** 係 投 保 る。 ま金 合 しし が 資 項 の 証 で、 の 計 て 関に 成 者 協 額 額 担 係 規 立 に 会 そ が  $\overline{\phantom{a}}$ 保 し 保 定係 を 手 干 の て 険 す 相 る 形 保 手 保 ١J る 債 の 百 証 る 証 公 方 第 務 割 五 者 Ξ に 人 害 の لح 引 + のを つ 条 防 b 保 の き 万 保 除 の止証 て、 場 **<** 円 証 八保 に 合 公 を を 第 険 つ 当 は 超 庫 含 L١ 該 手 ۲ ಕ್ಕ え の 項 第 て 信 当 形 る に Ξ 普 金 用 金 該 こ 融 規 条 通 保 額 ۲ 信 を 機 定の 保 証 が 提 関 す 六 険 用 協 特 保 で 供 る 第 会 か 殊 証 き さ 5 が 新 無 保 せ 協 な の 事 項 担 小 証 業 会 11 な 借 に 規 保 لح の 保 L١ λ 開 規 保 模 場 険 れ の も 拓 定 険 企 合 間 の に 保 す 業 は 以 を に ょ 険 る 次 者 限 保 下 す る 又 工条 で 度 は る 債 ネ 第 険 あ

### 2 5 4 略

### 売 掛 金へ 債 権 担 保 保 険

第 Ξ 関 つ 人 あ の る か 条 しし て 代 事 5 の λ 業 険 金 兀 の 表 **ത** 関 の 保 者 者 借 係 に 額 険 で λ 公 が の 価 あ 対 れ 庫 う は 成 る す に 額 立 ち 保 る ょ の す 保合 証売 る 事 る 人 掛 業 証計 債 旨 を の 金 務 年 額 を が 保債の 度 L 定 た \_ 証権 保 の め 額 億 をの証 半 る の 円 含みへ 期 契 ごと 総 を 特 む  $\overline{\phantom{a}}$ 当 約 額 超 殊 に を が え  $\overline{)}$ 該 保 締 る の 中 証 結 定 こ み 小を 信 す ഗ لح 企 含 用 る が 業 金 を む 保 こ 額 で 担 者 証 ح き 保が に 協 が 達 な と法で 会 で す L を しし 人 あ ㅎ で る 保 て つ 相 る。 ま 険 提 あ て 手 そ で〜 供 る 方 以 場 さ の لح そ せ 合 保 b 下 て、 の る に 証 も 保売 あ に 証 掛 の つ つ 当 てい を 該 に金 つ債 て す は 信 当 き 権 る 用 担 売 該 保 こ 公 保 と掛 中 証 に金小 庫 保 協 企 ۲ 険 よ債 会 当 権業 IJ が 該 لح 者 中 必 信 ١J 中 の 小 う。 用 小 要 取 企 保 に 引 企 証 業 応 者 の 相 協 に 者 じ の 会 つ そ 手 金 ح の L١ 人 方 融 に 法 て で

### 2 3 略

### 業 開 拓 保 険

関

額

特

務 第 ル つ

の る に 計 除 設 第 経 又 **<** 金 ょ 置 は 額 Ξ 済 لح 1) 条 額 が **ത** 産 新 の に が 業 設 費 の 技 八 達 で 立 億 に 用 六 紨 す ㅎ さ 円 第 令 係 に 公 の る な れへ る 充 で 研 庫 ま そ た 金 て 項 定 L١ 究 は で、 保 組 の 融 る に め 開 合 中 険 機 た 規 る 発 事 小 関 そ 若 め 定 も 又業  $\overline{\phantom{a}}$ 以 に の 企 か す は年 L の 保 下 < 業 必 る 5 に 企 度 者 要 I 証  $\neg$ は の 充 業 の ネ そ 借 な 半 に 新 が て 化 つ 事 の 中入 資 ル る に 期 き 業 小れ 金 ギ た 要 ご 連 ı 開 合 企 に 又 め す لح は 会 業 のに る 公 拓 ょ 保 で 等 前 使 費 庫 る 必 ۲ 険 政 協 債 条 用 要 用 信 当 令 同 務 第  $\boldsymbol{\sigma}$ な 用 ۲ 合 組 需 で **ത** 箵 該 保 しし 定 合 保 理 金 信 項 要 証 う。 化~ 用 め 証 に の 協 保 る 協 規 に 第 を 開 会  $\overline{\phantom{a}}$ 業 す も 資 証 定 拓 を に 条 組 る す す 協 の に 相 Ë つ る る 会 で 合 の 要手 لح しし 施五 す方 ۲ あ 海 て、 に の る 商 外 設 第 る ے ع 間 若 I ょ 直 費 U に 借 き 組 IJ 接 L 項 用 τ < は合 投 そ 保 λ に 険 金 若中 資 は 規 の 当 関 の 兀 し小 の 石 定 他該 額 < 事 油 す 係 億 企 の信 円 は業 業 代 が の る 新用 成 う 商者 に 替 公 た 保 ち 立 I 要 I 害 な 次 証 す 保 組 人 す ネ防 項 協 事 る 証 に 合 に る ル 止 業 会 ギ お連 つ 資 に 旨 を のが 1 を U い合い 金 要 開 中 定 た 会 て を す て に 拓 小 又 め 額 同 の 該 使 る に 企 じょは 当 る **ത** 保 用 費 要 業 契 総 特 険 す す 用 す 者 約  $\overline{\phantom{a}}$ 額 別 価 る る 若 る の を が を の 額 施 費 も 新 < 締 超 法 の の 設 用 商 え律 合 を 定 の は で

2 · 3 (略)

す

る

こ

ع

が

で

き

る

(保険料)

第 兀 保 険 料 の 額 は 保 険 金 額 に 年 百 分 の 以 内 に お L١ て 政 今 で 定 め る 率 を 乗 得 た 額 ۲

中 小 企 業 信 用 保 険 法 施 行 令  $\overline{\phantom{a}}$ 昭 和 +五 年 政 令 第 Ξ 百 五 + 号 抄

(保険料率)

第

う。 間 済 手 通 ۲ 期 形 条 及 の び 保 の  $\overline{\phantom{a}}$ 手 法 険 L١ **ത** 割 法 ず 第 形 場 引 第 以 合 を 兀 れ の 条 下 か 割 は 受 条 当 長 引 け 0 ഗ 普 11 の 該 た 九 政 場 第 通 期 保 時 令 保 間 合 証 か で 険 は 契 項 5 定 約 当 に 以 め 規 ٢ 下 手 で 該 る l١ 形 定 手 率 定 同 う。 す じ の め 形へ る 満 の以 る 特 期 期 満 下 又 間 定 期 社 法 は 以 ۲ 保 ま 債 第 社 下 当 で 険 保 Ξ 債 同 該 の料 じ 険 条 に 保 期 率 証 間 の 係 以 契 ۲ る 第 債 の 約 下 法い う。 務 到 第 で 特 項 を 来 定 Ξ す 条〜 定 に 保 め る 社 規 る 第は 証 期 債 定 L 日 保 す た 間 が 項 保 険 る 期 最 の に証 間 無 も 開 規 を ح 担 遅 始 定 し い保 年 の す しし た う。 保 も る に  $\Box$ 借 険 つ の か 特 λ き の 5 殊れ に 以 弁 保 保の あ 下 法 済 証 証期 つ 第 期 間 を  $\overline{\phantom{a}}$ て 無  $\equiv$ が 以 し  $\overline{\phantom{a}}$ は担 条 到 た 手 下 保 第 来 債 形 0 す 保 務 特 の る 険 項 の 割 殊 日 パ に う 保 引 ۲ 規 ち 証の ま セ L١ 定 で そ 場 う。 す と合 の の る 期 弁 いは

う。 規 第 る セン 業 故 係 証 1 省 ン の に 5 定 売 ۲ 発 す 項 掛 令 係 لح で る に 生 の しし 金 る 手 定 う。 新 規 債 率 中 場 六 形 事 定 権 め に 小 合 兀 業 す 担 割法 る 応 企 は  $\overline{\phantom{a}}$ パ 開 る 引 第 場 じ 業 1 保 及 Ξ 拓 エ 保 特 合 て 者 0 セ び 保 ネ険 殊 条 は 経 当 の • ン ル 0 1 険 に 保 の 済 財 座 ギ Ξ 八 あ 証 0 産 務 貸 ま Τ 以 つ 及 第 業 内パ 越 で て 下 対 び 一八 省 容 -しっ 策 は 当 項 七 手 令 そ セ を 保 0 に パ 新 座 で の ン 受 形 事 険 • 貸 規 定 他 -けの 業 四 越 定 セ め のか る 割 開 経 る 法六 す ン 5 引 L • ۲ 拓 第 パ 特 る 1 保 営 を 保 Ξ ı 殊 特へ 険 の に 受 険 状 条 セ 保別手 料 兀 よけ ン の 証 小 形 率 況 パ る る ع Ļ 七 割 を 債 こ の ١J 第 場保引 保 勘 セ لح 務 う。 法 合 険 特 険 ン に 案 の 項 1 第 は 殊 事 L  $\overline{\phantom{a}}$ み ょ に Ξ 以 て 保 故 ま る に に 規 条 下 0 証 の 経 で つ 債 あ 定 発 の \_ 及 済 • しし 務 つ す 五 Ξ 特 び 生 産 の て の て る 当 第 四別 率 業範 の み は 海 省 \_ パ小座 を 井 特 に 0 外 項 I 貸 算 令 内 殊 つ 投 に セ保越 出 で に 保 しし 八 資 規 す ン 険 し 定 お 証 て \ |-る 七 関 定 \_ 特 め L١  $\overline{\phantom{a}}$ の パ ۲ こ す 殊 て、 係 る 以特 1 ح 保 る しし 保 ۲ 下 殊 が ٦ セ う。 険 公 法 証 保 保 ント 3 及 害 第 で 険 当 ഗ 証 び 防  $\equiv$  $\overline{\phantom{a}}$ 場 き に 関 座 とす 条に 法 止 合 な ょ 係 貸 以 第 保 IJ の あ は しし 越 下 る。  $\equiv$ 険 四 つ 場 算 ۲ b 条 第 て 出 0 合 に 特 手 さ は لح の法 殊 形 当 項 ħ 八 第 0 七 L 保 割 第  $\equiv$ に 四 て る 該 証 引 条 規 兀 パ 経 保 保 特 パ の 定 済 険 険 لح 頂 殊 に六 す セ 産 事 関 しし

中 小 企 業 の 新 た な 事 業 活 動 の 促 進 に 関 す る 法 律 施 行 令 平 成 + 年 政 令 第二百一 号 )

抄

中 小 企 業 者 の 範 井

第 定 条 め る 中 種 小 並 企 び 業 ഗ に そ 新 の た 業 な 種 事 業 ع 活 の 動 資 の 本 促 金 進 の に 額 関 又 す る は 出 法 資 律 の  $\overline{\phantom{a}}$ 総 以 額 下 及 \_ 法 び 従 業 لح 員 ١J う。 の 数 は  $\overline{\phantom{a}}$ 第 二 次 の 条 表 第 の لح 項 お 第 1) 五 لح 号 す に る 規 定 す る 政 令

二百人	五千万円	旅館業	Ξ
三百人	三億円	ソフトウェア業又は情報処理サービス業	_
		並びに工業用ベルト製造業を除く。)	
九百人	三億円	ゴム製品製造業 (自動車又は航空機用タイヤ及びチューブ製造業	_
従業員の数	資本金の額又は出資の総額	業	

2

略

れぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。第五条「審議会に、次の表の上欄に掲げる分科会を置き、これらの分科会の所掌事(分科会)中小企業政策審議会令(平成十二年政令第二百九十五号)(抄) 務は、 審議会の所掌事務のうち、そ

(略)	(略)
理すること。	
技術の高度化に関する法律(平成十八年法律第三十三号)の規定により審議会の権限に属させられた事項を処	
化及び効率化の促進に関する法律(平成十七年法律第八十五号)第三条第三項及び中小企業のものづくり基盤	
第三条第三項、中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律(平成十一年法律第十八号)、流通業務の総合	
)第三条第三項、商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律(平成五年法律第五十一号)	
力の確保及び良好な雇用の機会の創出のための雇用管理の改善の促進に関する法律(平成三年法律第五十七号	
)第十三条第二項、中小小売商業振興法(昭和四十八年法律第百一号)第三条第三項、中小企業における労働	会
二(中小企業支援法(昭和三十八年法律第百四十七号)、下請中小企業振興法(昭和四十五年法律第百四十五号)	営支援分科
一 (略)	中小企業経
所 掌 事 務	名称